

■子ども医療の給付

【民生費】1億8,011万円  
(健康長寿福祉部 保険事業課)

お子さんの健やかな成長を願い、乳幼児、小学生、中学生が医療機関を受診された場合に支払う自己負担金の一部を助成します。京都府内の医療機関は受給者証を提示することにより1医療機関当たり1か月200円の自己負担となります。京都府外で受診された場合は申請により後日給付します。



受診の様子

患者本位の医療体制の充実

■市立病院繰出金

【衛生費】8億4,531万円  
(医療部 医療政策課)

京丹後市では、本域において必要な医療を提供するため、2つの市立病院を設置しています。

市立病院では、市内の病院や診療所との連携・協力のもと、救急医療をはじめ産科医療、小児科医療、人工透析医療、リハビリテーション医療、在宅医療などを担っており、こうした医療に必要な経費の一部を負担するため、国が定める基準により、一般会計から病院事業へ繰り出しを行っています。

- 弥栄病院 4億1,420万円
- 久美浜病院 4億3,111万円

地域医療を担う市立病院



弥栄病院



久美浜病院

■臨時福祉給付金

【民生費】(新規) 2億1,000万円  
(健康長寿福祉部 生活福祉課)

平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられましたが、所得の低い方々への負担の影響に鑑み、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給します。給付対象者は、平成26年1月1日において住民基本台帳に記録されており、平成26年度分の市民税均等割が課税されない方が対象となります。ただし、ご自身を扶養している方が課税される場合や、生活保護制度の対象者となっている場合は対象外となります。

給付額は、給付対象者1人につき1万円。また、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金等の受給者や児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者などは5千円が加算されます。



■障害者の就労支援

【民生費】83万円  
(健康長寿福祉部 障害者福祉課)

障害のある方の就労を支援するため、市役所で障害者短期職場実習を実施するとともに、障害者職場実習の受け入れ企業へ奨励金を支給します。また、特定就職困難者雇用開発助成事業から引き続き雇用する場合に限り、障害者雇用促進奨励金を支給します。



障害者短期職場実習の様子  
(峰山図書館での絵本の読み聞かせ)

特定就職困難者雇用開発助成事業▶障害者等の雇用機会の増大を図ることを目的とした国の事業で、就職に困難な障害者等を職業安定所などの紹介により雇い入れた事業主へ賃金に相当する額の一部を支給する制度です。

■福祉タクシー利用料等助成金

【民生費】624万円  
(健康長寿福祉部 障害者福祉課)



福祉タクシー利用券と  
福祉ガソリン利用券

在宅で外出困難な障害のある方に対して、タクシー料金の一部を助成する「福祉タクシー利用券」または、自家用車等のガソリン費用の一部を助成する「福祉ガソリン利用券」のいずれかを交付することにより、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進等を支援します。

辺地地域の高齢者宅へ保健師が訪問支援します

■高齢者安心生活の支援

【民生費】86万円  
(健康長寿福祉部 健康推進課)

市域中心部から離れた遠隔地域(無医地区、辺地、過疎地域)等に居住する高齢者が健康で自立した生活が送れるように保健師が自宅へ訪問し、健康相談等を行い支援します。

○65歳以上の方が対象です。  
※介護保険の要介護認定の方や福祉サービス利用をされている方は、対象外としています。



■障害者への福祉サービス給付

【民生費】14億4,979万円  
(健康長寿福祉部 障害者福祉課)

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付などの支援を行い、障害者福祉の増進を図ります。



■有害鳥獣捕獲事業

【農林水産業費】7,195万円  
(農林水産環境部 農林整備課)

近年拡大傾向にある有害鳥獣被害対策として、猪や鹿などの有害鳥獣捕獲を猟友会へ委託するとともに、近隣市町(兵庫県豊岡市、京都府宮津市、与謝野町、伊根町)と連携し広域捕獲を実施します。

また、狩猟免許の取得・更新をされる方や猟銃を購入される方に対して、鳥獣捕獲班に加入することを条件に補助金を交付します。

- 狩猟免許取得・更新補助 2分の1以内
- 猟銃購入補助 2分の1以内(上限15万円)



昨年の広域捕獲の様子(久美浜町蒲井・旭)

■サルの被害軽減対策

【農林水産業費】(新規) 1,588万円  
(農林水産環境部 農林整備課)

丹後町のサル被害の軽減を図るため、京都府、農業共済組合、猟友会などの関係機関で組織する京丹後市野生鳥獣被害対策協議会へ必要な経費を負担し、個体数調整捕獲に必要な群れの行動調査や大型捕獲施設整備を行います。

また、サル追払い隊が集落を定期的に巡回して、地域が行うサル追払いのサポートを行うとともに、被害状況調査、防護柵の設置・点検指導を行い、追いに必要な花火等の資材を被害集落へ配付します。



花火によるサル追払い活動の様子

安心・便利な総合検診で市民の健康を守ります

■総合検診

【衛生費】1億346万円  
(健康長寿福祉部 健康推進課)

健康診査と各種がん検診が一度に受診できる「総合検診」を、5月20日から8月30日まで、地域の公民館等を会場に実施します。

生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を目指し、まず「検診を受ける」ことで健康への意識を高めていただくため、受診人数の増加を目指しています。

節目年齢の方には、対象となるがん検診のご案内を個別に郵送するなど、受診勧奨にも努めています。

また、今年度は、がん検診のみとなりますが、土曜と日曜検診を各1日ずつ実施します。



総合検診の様子

■子育て世帯臨時特例給付金

【民生費】(新規) 7,111万円  
(健康長寿福祉部 生活福祉課)

平成26年4月の消費税率の引き上げに際し、子育て世帯の負担を軽くするため、児童手当を受給している世帯に、子育て世帯臨時特例給付金を支給します。

支給対象者は、平成26年1月1日現在において、京丹後市で平成26年1月分の児童手当受給者が対象です。ただし、

平成25年中の所得が児童手当の所得制限額以上の方や、臨時福祉給付金の対象となっている方、生活保護制度の被保護者となっている方は対象外です。給付額は、対象児童一人につき1万円です。



くらしに役立つ助成制度や負担軽減制度を紹介します

■くらしの支援ガイド(平成26年度版)の発行  
【総務費】241万円  
(秘書広報広聴課)

市民の日常生活に関わりが深い子育てや就学、国民健康保険、年金などの助成制度や負担軽減制度、並びに防災、医療機関情報をまとめた「くらしの支援ガイド」を発行(22,300部)し、全戸に配付します。また、本市への転入者にも窓口で配付します。



くらしの支援ガイド(平成25年度版)